



平成 20 年度 P T A 委 員 募 集 方 法

*この冊子は 4 月 25 日までご家庭で保管してください

20年度の委員を決める方法やスケジュールをまとめた冊子です。 在校生・新入生すべての家庭にお配りしています。

『どのご家庭も児童ひとりにつき一度は委員になる』『1クラスから5人が委員になる』が基本ルールです。

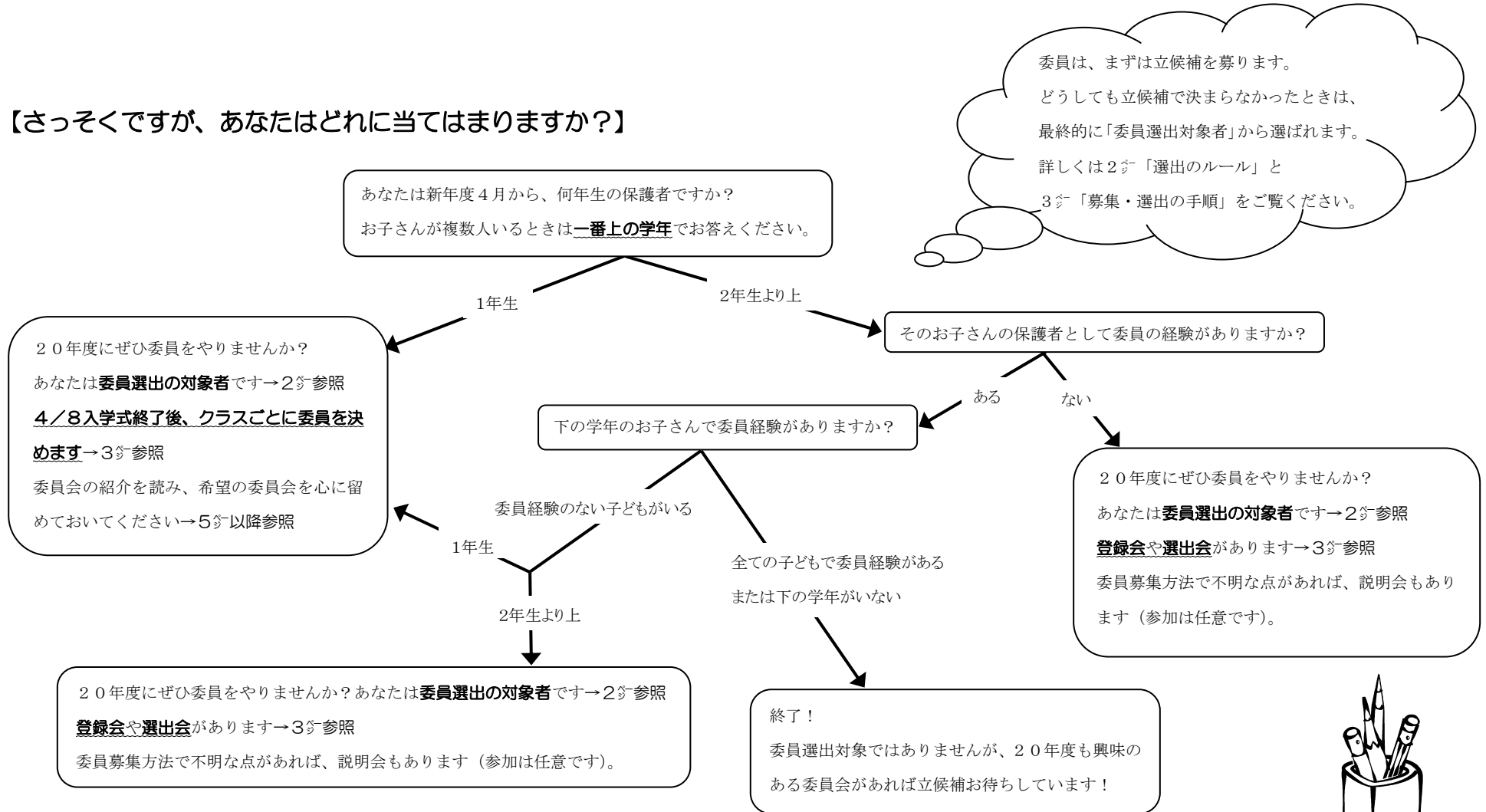
一度じっくりと目を通してください。

委員の仕事内容は？ 委員会はどんな雰囲気？…19年度のまとめや20年度活動計画も参考にご覧ください。

【目次】

- <ページ>
1. チャート図『あなたはどれに当てはまりますか?』
 2. 委員選出のルール
 3. 募集・選出の手順『立候補受付から引継ぎまでのスケジュール』
 4. Q & A
 5. 20年度のPTA構成
 6. 委員会ごとの20年度活動計画と募集人数『どの委員会に何人の委員を募集するか』
- 7～ 参考資料：19年度の委員会活動の内容

【さっそくですが、あなたはどれに当てはまりますか?】



【委員選出のルール】

《委員履歴》 市小在学中、お子さん一人につき1回、委員または本部役員になる。

- ・お子さんが二人以上いる場合、兄弟姉妹の履歴は別カウント。お子さんの人数分、委員を引き受ける。
- ・履歴のないお子さんが複数人いるときは、上の学年で委員になる。
- ・上の学年で委員を引き受けた翌年からは、履歴のない下の学年で委員選出対象になる。
- ・委員履歴は市小PTAの委員経験をカウント。平成16年度から19年度までの履歴も有効。町内会、子ども会、育成会など別団体の役員経験は含まない。

☆ご自分が委員選出対象者かどうか、1頁「チャート図」でお確かめください。

☆立候補で委員がすべて決まらなかったクラスは、最終的に委員選出対象者のなかから選ばれることとなります。→3頁「募集・選出の手順」参照

《クラスからの委員の出し方》 1クラスから合計5人が委員になる。→5頁「PTA構成図」、6頁「委員会ごとの募集人数」を参照

- ・希望の委員会に立候補してもらおう。クラスの募集定数を超える立候補があったときは、話し合い等で決める。第二希望以下にまわってもらうこともある。
- ・どのように委員を決めていくか、具体的な方法とスケジュールは3頁「募集・選出の手順」を参照。
- ・本部役員は委員と別枠で推薦されるので、クラスから出す5人の委員数には含まれない。

毎年5人が委員になるということで、転出・転入も織り込みながら6年間で延べ30人（クラス児童数とほぼ同じ）が公平に委員を経験することになる。

《その他》

◆立候補は何度でも大歓迎、毎年委員になってもよい。

◆委員になる希望は年度ごとにかがいがい、翌年度以降に持ち越さない。

*〇〇年度に立候補したいという予約を受けてしまうと、初年度である20年度はいいとしても来年度以降は…

「前年度や前々年度からの立候補予約者」「その年度にはじめて立候補したいと思った人」「転入者」「前年度希望が外れて委員になれなかった人の再チャレンジ」などいろいろな立場の人が混在し、1つの委員枠を決めるときの優先順位が難しくなる。またPTA活動全体を見直し、委員会を新設したり廃止したりする可能性もある。さらに年度を持ち越すと家庭の事情もかわるかもしれない。そのようなことから検討の結果、翌年度以降の立候補予約は受けないこととした。

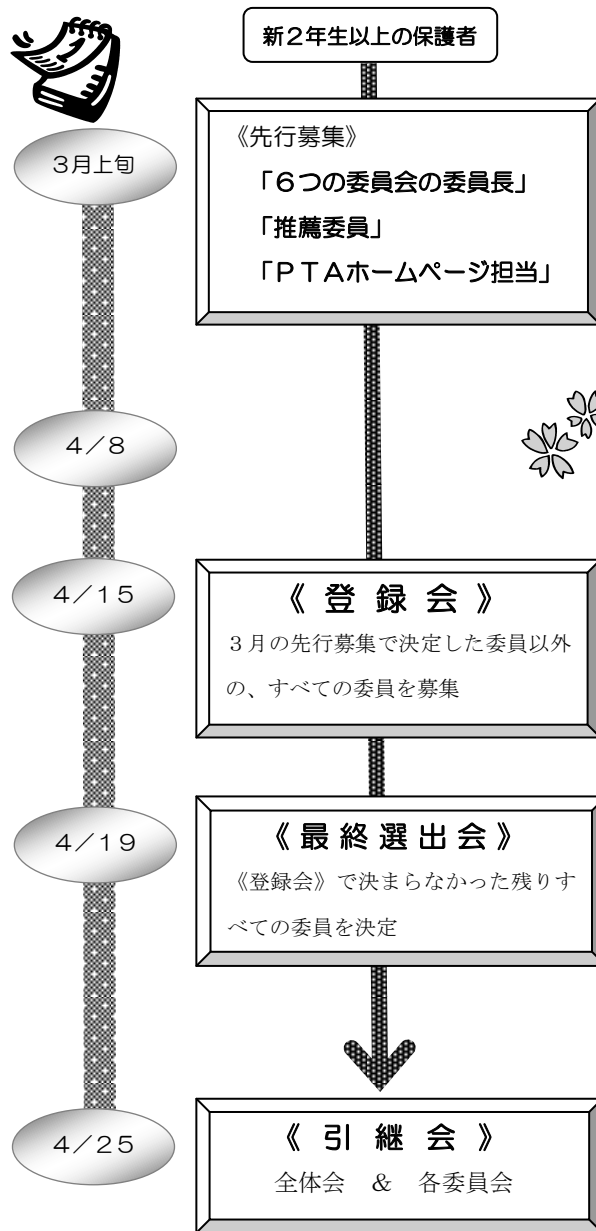
◆4月転入の保護者も、委員選出の対象とする。

*新1年生クラスから入学後すぐ委員になってもらうのと同じ意味合いで。新しい土地で知り合いをつくったり学校に慣れていただく場としてPTA委員会を前向きに利用していただきたい。



【募集・選出の手順】

※※委員になった方には委嘱状を交付。4/25(金)引継会に参加をお願いします※※



①立候補用紙 2/29配付 → 3/7締切

- ・6つの委員会（学年、地域安全、総務、研修交流、プール開放、推薦）の委員長を先行募集。
 - ・推薦委員会は委員も募集。 → 委員会の仕事内容は5頁以降を参照
 - ・ホームページ担当の仕事を説明希望の方は、総務委員会にメールでお尋ねください → この冊子と同時配付の手紙を参照
- ②4月のクラス分け決定後、立候補者のいるクラスから募集人数を減らす（4月の立候補用紙配付時にお知らせ）
*例えば総務委員長候補者が4月に5年1組になったら、新5-1の「総務：定員1人」が「0人」になります。
- ③どれも予定の人数に満たなければ、4月《登録会》にて再募集。

委員長候補者は、4/25顔合わせ会で新委員から承認されて正式決定。立候補がいなかったときは新委員の中から互選。

新1年生保護者の委員決め

①4/8入学式終了後体育館で、クラスごとに5人の委員をすべて決定。

①立候補用紙 4/9配付 → 4/14締切

- ・委員会の希望順位を記入。
- ②立候補者は4/15《登録会》に出席。都合で欠席の方は①の立候補用紙をもって参加とみなす。
- ③立候補者がクラス定数をオーバーした場合は、話し合いで調整。ただし欠席者がいたときは立候補用紙を用い抽選で決定。

①《登録会》で5人の委員が決まらなかったクラスは、4/19授業参観日に学年単位で《最終選出会》を開催。

- ・各学級での懇談会終了後に開催。残りすべての委員を決定。委員が決定しているクラス（学年）は行いません。
- ②委員履歴がない保護者の方は、履歴がないお子さんのうち一番上の学年の《最終選出会》に出席。
- ③《最終選出会》は話し合いですすめるが、どうしても決まらなければ委員履歴がない保護者（＝委員選出対象者）で抽選。
・「学年・プール・推薦のグループ」「地域安全」「総務」「研修交流」の順番で、まだ決まっていない委員会を抽選します。
- ④当日欠席で委員に選出された方には、お子さんを通じて委嘱状を送付。

①4/25(金)9時～12時半を予定しているので、新委員はご出席ください。

- ②全体会「PTAの約束事」確認のあと、委員会にわかれて「顔合わせと引継会」。
- ③委員会ごとに、委員長以下役職や仕事の担当・チーム分けなどを決定。

【Q&A】



Q：PTA活動をほとんど知らない。引っ越してきたばかりで学校や地域のことがよくわからない。委員活動ができるか不安。

A：PTA活動を全家庭で公平に分担して運営するという事は、必然的に委員は毎年新しいメンバーに入れ替わります。最初は「どうすればいいんだろう…」と戸惑ってもおかしくありません。委員が初めてという点では、在校生家庭と新入生家庭にあまり違いはありません。

PTAはプロ集団ではなく、みなさん同じ市小の保護者です。経験がないとできない活動ではないし、完璧を目指すものでもありません。お互い顔見知りになり協力しあって、同じ委員になったご縁を一年間楽しんでください。楽しみながらより良い活動になるようちょっぴり頑張ってみたり、達成感が得られれば素敵ですね。学年を超えていろいろな方と交流できるのもPTA委員会のよさです。「知らない」「わからない」はとりあえず横においといて、遠慮なさらずたくさん意見を交わし委員会活動を盛り上げてください。

Q：引継ぎはあるか。前年通りの活動が新しい委員でスムーズにできるか。

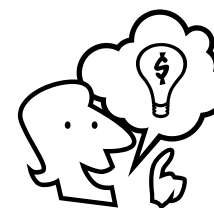
A：新委員が出揃ったところで旧委員さんから引継ぎがあります。1年間の記録をいっぺんに理解するのは大変なので、徐々にでよいと思います。ただし前年通りの内容をそっくりそのまま引き継ぐとすると、そこまでの細かい資料は残っていなかったり、かえって行動が制限されてやりにくいこともできます。

大切なことは『そのイベントや活動がどうして行われてきたのか』意義や背景を聞いていただくことです。前年からの反省点も重要なポイントです。過去にはよいと思っていた活動でも、時がたつと形骸化したり、現状とのズレに気づくこともあります。そんな時は「どうしてこのイベント（活動）は必要か」に立ち返り、新委員で検討して、よりよいと思う内容にしてください。そしてそれを次の年度に引き継いでいってください。

Q：委員になると何でも委員だけで活動しなければならないのか。委員にならなかった年度はPTA活動に何も関わらなくていいか。

A：PTA活動には、児童の安全に関わるもの（通学路安全点検や防犯パトロールなど）や、たくさんの方で分担したほうがよいもの（美化活動やプール開放当番）など、必要に応じて全家庭に協力をお願いすることが多々あります。委員であるないにかかわらずどのご家庭も都合がええばご協力をお願いします。このような活動では、委員さんは全体の企画や進行役などの仕事をします。

「すべての家庭に何らかの形でPTA運営に関わりをもっていただきたい」…お子さん一人につき（6年間を通じて）1回は委員を、
そして毎年の委員会活動には全家庭のサポートを、よろしく願いいたします。



Q：仕事をしていたり、幼い子どもを抱えていては、委員になるのは難しいのではないか。

A：仕事や育児などの都合はどなたにでもあることで、これまでの委員さんも助け合いながら委員会活動をしてこられました。新委員が決まり活動を進めていくなかで、お互いに譲り合い協力できる点を見つけていってください。活動方法も工夫次第、思いやりとお互いさまの心で声をかけあいながら活動していきましょう。幼いお子さんを連れて委員会活動をする方も毎年いらっしゃいます。仕事や育児以外にどうしても委員ができないやむを得ない事情のある方は、最終選出会（3頁参照）を行う前に教頭先生までご相談ください。



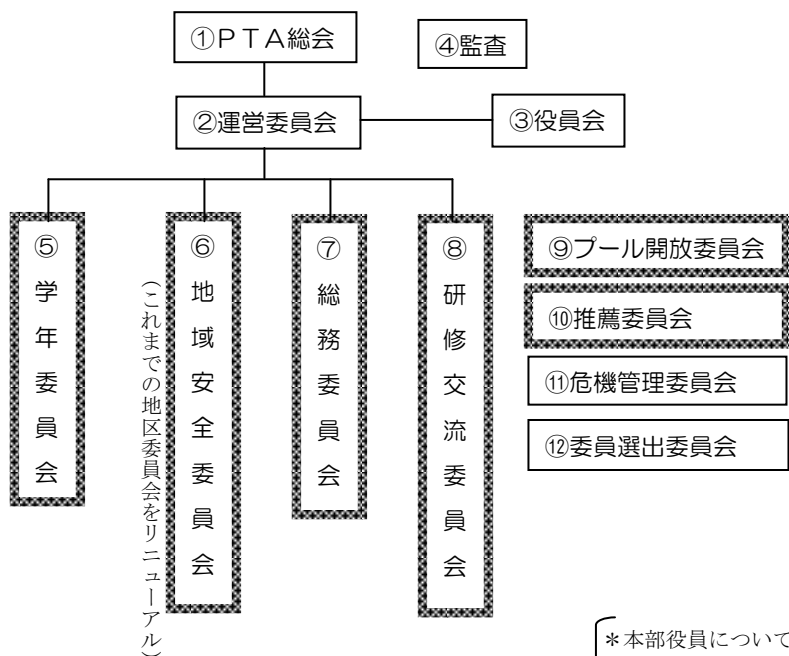
ここから委員会紹介ページです！ 募集人数、委員の仕事、委員会の雰囲気など…委員会を考える参考にしてください。

市名坂小学校は平成20年度に開校5目を迎えます。市小PTAは開校当初からよりよいものをめざして委員会のあり方や活動内容を柔軟に見直し、手を加えてきました。家庭数や児童数の増加でPTAをとりまく環境が変化したり、転勤転入家庭がとて多く全国の小学校と比較されることで「PTAにもいろいろあるんだ」と刺激を受けたり、新設5年という伝統にしばられない身軽さもあります。そういったことで『市小らしさ』を試行錯誤しながら1つ1つ創り育てていく段階にあります。

PTA委員を募集する方法も、学校が違えばいろいろあります。また委員以外の保護者のPTA活動への関わり方にも多彩なアイデアがあり、そのどれが良くてどれが悪いということではなく、いまの市小PTAにあったスタイルを臨機応変につくっていくことが大切であると考えます。

委員会構成や委員募集方法は年度ごとに少しずつ姿をかえてきましたが、開校以来一貫して「すべての家庭になんらかの形でPTA運営に関わりをもっていただきたい」ということの基本をまいてまいりましたので、それをベースに改良すべき点は新しくして20年度に引き継いでいきたいと思ひます。

【20年度のPTA構成】…委員を募集する委員会は 囲み



- ①PTA総会：PTA会員全員が構成メンバー。通常4月に一度開催。
- ②運営委員会：日頃の活動の審議報告など。構成メンバーは本部役員、参与（校長）、⑤⑥⑦⑧の委員長。必要に応じて⑨⑩の委員長も出席。
- ③役員会：本部役員と校長。
- ④監査：本部役員の中で特に監事は、会の業務監査という役割を担う。
- ⑤学年委員会
- ⑥地域安全委員会
- ⑦総務委員会
- ⑧研修交流委員会
- ⑨プール開放委員会
- ⑩推薦委員会
- ⑪危機管理委員会：本部役員、校長、危機管理担当教師、地域安全委員会、⑤⑦委員長。必要時に開催。
- ⑫委員選出委員会：本部役員(P)と⑤⑥⑦⑧委員長。委員会構成の検討や、委員募集の企画と実施。

⑤から⑩までの委員会のメンバーを募集します!!
各委員会の紹介や募集人数は6ページをご覧ください。

*本部役員について：委員募集とは別に、推薦委員会によって候補者が推薦され、総会で承認され決定する。保護者(P)と教師(T)で構成。会長(P)・副会長(P)・会計(PとT)・監事(PとT)・事務長(教頭)・事務次長(教務主任)の役がある。

【各委員会の20年度活動計画】と【募集人数】

*20クラス編成が前提。4月決定のクラス数によって委員会ごとの委員数は増減しますが、クラスから5人が委員になることに変更はありません。

つまり1クラスから
5人が委員になります

委員会名	目的	20年度活動計画	募集人数	クラスごとの委員定数
⑤ 学年委員会	保護者同士の親睦、保護者と教師の連携を深める。	●学年ごとの活動(学年行事や保護者懇親会の企画、学校行事等のお手伝いとりまとめ) ●委員会全体の活動(美化活動、ベルマークと牛乳パック回収)	20人	●各クラスから2人ずつの枠で募集する(合計40人)。 →「⑤学年」「⑨プール」「⑩推薦」にわかれる。 ・「⑤学年」…各クラス1人(合計20人) 「⑨プール」…各学年2人(合計12人) 「⑩推薦」…3クラスの学年は1人、 4クラスの学年は2人(合計8人) ●「⑤学年」「⑨プール」「⑩推薦」の希望は登録会で立候補があれば決定。立候補がなければクラスで選出後、4/25までに調整。 ☆「⑩推薦」のみ委員を3月に先行募集!←3頁を参照
⑨ プール開放委員会	夏休みプール開放事業の企画と運営を専任で行う。 (学年と兼任しない)	市役所での説明会参加、当番募集と当番表づくり、当番説明会と救命講習実施、運営報告。 ★活動期間は5月から9月まで。	12人	
⑩ 推薦委員会	次年度の本部役員候補者の推薦活動を専任で行う。 (学年・地区と兼任しない)	候補者の推挙と交渉、候補決定の広報、PTA総会で報告。★活動は主に秋以降に集中。 *推薦委員は候補者になることはできない。	8人	
⑥ 地域安全委員会 (旧地区委員会)	児童と家庭が地域で安全安心に生活できるよう考える。	次の項目の企画運営や研修会等の実施。 ●通学路の安全点検、交通マナー向上 ●防犯・防災の意識づけと知識向上 ●地域との連携	20人	●各クラスから1人ずつ募集する。
⑦ 総務委員会	本部と連携し、PTAが円滑に活動できるよう働きかける。 庶務担当=本部活動の補佐。 広報担当=PTA活動を学校内外に周知する。	●庶務活動(PTA総会運営、運営委員会議事録、本部の仕事の補佐、学校とのこまめな連携、各種団体への協力、突発的事項への対応) ●広報活動(活動誌、広報誌、PTAホームページ、PTAフェスティバルほか)	合計20人 (内訳) 庶務8人 広報12人	●各クラスから1人ずつ募集する。 ●庶務か広報かの希望は登録会で立候補があれば決定。立候補がなければ4/25顔合わせ会で調整。庶務は翌年度4月にPTA総会を運営する都合上、翌年在籍する保護者のみ対象で各学年から1~2人。 ☆「PTAホームページ担当者」のみ3月に先行募集!←3頁を参照
⑧ 研修交流委員会	会員の教養・知識向上、親睦と健康増進、親子と地域の交流。	●保護者向け研修会 ●泉区PTAバレー ●親子レク(市小カーニバルなど)	20人	●各クラスから1人ずつ募集する。

★『学校の森をつくろう』というプロジェクトが学校と地域の方々の間で始まっており、20年度中に森が完成すると新たに維持活動がスタートします。

準備段階や維持活動にPTA委員会がどのように関わるか詳細は未定ですが、⑤⑥⑦⑧の各委員会がなんらかの形で参加する可能性があります。



【19年度の委員会まとめ】…委員への立候補を検討するときは必ず6頁「20年度活動計画」もご覧ください。

学年委員会

委員数 36 名。学年長会中心の全体活動と、学年会ごとにわかれた活動を行った。役は以下の通り。

<学年長会>委員長、副委員長、会計、広報、書記

<学年会>学年長、副学年長、会計、広報、書記

*副学年長は推薦委員を兼任

★19年度に活動した「夏休みプール開放事業」と「本部役員候補者の推薦活動」は、20年度は学年委員会から離れ、独立した委員会になる。

★20年度からはベルマークと牛乳パック回収事業が加わる（総務委員会から引き継ぐ）

- 全体の活動…全体委員会や学年長会議など開催。
運動会お手伝い（5月） 夏休みプール開放事業（5～9月）
第一回美化活動（10月） 第二回美化活動（3月）
校長先生を交えて学年行事意見交換会（12月）
- 学年会ごとの活動…懇親会や学年行事
学年ごとにわかれて保護者懇親会（6～7月）
1 学年行事「給食試食会」 2 学年「ミニ運動会」「昔話」
3 学年「国際交流」 4 学年「キャップ・ハンディ体験」
5 学年「米の収穫祭」 6 学年「卒業を祝う会」
その他学年担任のお手伝い（校外学習付添など）。
- その他活動…20年度の本部役員候補者の推薦活動。副学年長のみ。（地区委員兼任の推薦委員とともに活動）

●委員の感想、委員会の雰囲気

- ・クラスを越えて学年の先生方とよく話をすることができて良かった。
- ・転勤したばかりで委員になったが、学校のことや地域のことがよく分かって良かった。
- ・学校に来る機会が増え、子供達の学校生活やクラスの友達の顔も分かり顔なじみになれた。
- ・仕事で毎回は参加できなかったが、お互いにカバーしあい活動できた。
- ・委員会が36人の大所帯だったため、全員で集まろうと思うと大変だったり、仕事によって動きが取りにくい時があった。

（*夏休みプール開放事業の感想は、
プール開放委員会の欄に掲載）

地区委員会

委員数 26 名。委員は校区 9 地区から選出。それぞれの地区に地区長と副地区長。

委員会全体の役としては、委員長、副委員長、書記、会計、広報、青少年指導員、推薦 3 名。

★20年度からは地域安全委員会に名称変更し、委員をクラスから選び、交通安全に加えて防犯・防災など幅広いテーマで活動予定。通学路安全点検などを全家庭にお願いし、校区をカバーする。

★19年度は 3 人が推薦委員を兼任したが、20年度は推薦委員会として独立し兼任がなくなる。

- 交通安全や防犯に関すること
・街頭指導（交差点での旗ふり）の当番募集と当番表作成（4～1月で主に長期休暇の前後、年間16日程度）
・登校時パトロール（年5回）…七中校区地域ぐるみ関連
・一斉下校の子ども達に付き添いの呼びかけ（年2回）
・街頭指導やパトロールの結果を会員に広報
・青少年指導員として他校と共に泉区内パトロール（数回）
・新入生用パトロールカードと保護者カード作成（1月）
- 地区会の開催（10月に全地区。地区ごとに開催）
- 運動会保護者競技の募集と進行（地区対抗玉入れ）
- その他活動 20年度の本部役員候補者の推薦活動
（学年委員兼任の推薦委員とともに活動）

●委員の感想、委員会の雰囲気

- ・基本的に地区長 9 人で午前中に集まって活動。仕事で欠席の方の作業は他の委員がフォロー。委員全員では当番表づくりなどの作業には人数が多いので、副地区長は参加できる人のみに手伝ってもらった。
- ・私は転勤族で仕事もしているので学校関係の知り合いがいなかったが、委員会活動を通して知り合いが増えた
- ・街頭指導や防犯パトロールのサポーター募集のたびに参加者が少なく、不足を地区委員でカバーした。子どもの安全は全家庭の問題なのに、会員の防犯に対する関心の薄さを実感した。
- ・19年度の新しいこととして、防犯パトロールの当番からの報告内容をまとめ、家庭で話題にしてもらえるよう、会員に手紙を発信した。

総務委員会

委員数 18 名。全体の役としては委員長、副委員長、庶務、区 P 連担当。全委員をチーム分けして「広報誌 1 号担当 4 名」「2 号担当 5 名」「3 号担当 4 名」「PTA ホームページ担当 1 名」「ベルマーク牛乳パック担当 3 名」で活動した。

《広報誌の企画から発行まで》

2~3 ヶ月前 内容決めとレイアウト、原稿依頼と回収、印刷業者と打合せ、仮紙面完成

1 ヶ月前 仮刷り、紙面チェック

1 週間前 本刷り。

完成 配付。市内全校にも配られる。

●広報関係

・広報誌『かむりがわ』3 回発行（7 月・1 月・3 月）

・PTA ホームページ随時更新

・区 P 連広報常設委員会議出席（広報誌勉強会）

●庶務関係

・PTA 総会運営（19 年度 4 月）、PTA 懇親会幹事

・運営委員会議事録作成

・本部作成事務局だよりの印刷手伝い

・職員室から PTA 連絡封筒を回収、仕分け配付（週 1 回）

・安全互助会の事務作業（6 月）

・ベルマーク（年 1 回点数集計）

・牛乳パック（毎週回収・集計）

●委員の感想、委員会の雰囲気

＜広報＞・全員が初めての委員で広報誌発行まで知らないことが多く思うように進まないこともあったが、自分達で作ったものが出来上がってくるのと何とも言えないものがあった。

・19 年度は『かむりがわ』発行号ごとのグループ制にした。発行ごとに 1 から始める苦勞もあるが、発行作業期間に集中して頑張れば良いので仕事とも何とか両立でき、全員がかなり公平の役割分担になると思った。

（注）20 年度は発行号ごとのグループ制は廃止になる予定です。10 人前後で年間を通じて担当し、違う形で公平な役割分担を考えていきます。

＜ベルマーク・牛乳パック＞←20 年度から学年委員会の仕事に変更

・牛乳パック回収集計は毎週だが一人のできるの、3 人交代制で活動。時間もあまりかからず負担が少なく仕事していても無理なく活動できた。

研修交流委員会

委員数 17 名。全体の役としては委員長、副委員長、書記、会計、広報、庶務、区 P 連担当。

外部団体の市名坂小学校区体育振興会にお手伝いとして参加（3 回）。

●保護者研修会

・第一回「いま私たちにできる環境保護」（10 月）

・第二回「EM せっけんを作ってみませんか？」（11 月）

●PTA バレー（泉区 PTA 連合会）6/30 試合

19 年度

優勝！

・5 月選手募集、練習日程の調整

・練習（夜間 9 回）と大会当日のマネージャー的役割

●親子レク：児童が楽しめ家族も参加できるイベント

・市小カーニバル 2007 の開催（11 月）～準備に 2 ヶ月

・おやじの会に昼食づくり（カレー）を依頼。

●委員の感想、委員会の雰囲気

・行事を開催する委員会なので学校に集まる回数も多くなるが、そのぶん楽しく充実した委員会だった。（委員会年間 17 回開催）

・EM せっけんは個人で作るのは大変なので、継続して研修会で扱ってほしい。

・第一回保護者研修会で紹介した EM 洗剤を学年委員会が美化活動で使ってくれて、第二回研修会には学年委員さんが多く参加してくれた。委員会活動に広がりを感じられてよかった。

プール開放委員会

学年委員がプール開放事業を運営した。

★20 年度は専任で活動。

第一回プール運営委員会（5 月）
市役所でプール運営説明会（6 月）
当番募集、当番表の作成と広報
プール当番説明会と救命講座開催（7 月）
7/23 から 8/24 までプール開放
反省会と運営委員会報告、会員宛報告（9 月）

●委員の感想

・救命救急講座が受けられて為になった。

・多くのサポーターが手伝ってくれ嬉しかった。

・改めて子供達の為に活動していると実感した。

推薦委員会

学年委員と地区委員が兼任した。

★20 年度は専任で活動。

委員会の公正中立と候補者の人格尊重の立場から活動内容を公開できないが、19 年度は 9 月に初会合をもって 1 月には候補者をそろえることができた。